

資料3-3

令和元年度第3回つくば市在宅医療・
介護連携推進協議会資料

令和2年度

在宅医療・介護連携推進事業計画

令和元年度第3回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会

(ア) 地域医療・介護資源の把握

- ・在宅医療・介護連携推進事業のホームページの随時更新
- ・在宅医療と介護のサービスマップの普及【市民向け 3,000部】
- ・あんしん介護保険の普及【市民向け 2,500部】
- ・介護サービス事業所ガイドブック2019 ハートページの普及【市民向け 6,000部】
- ・高齢者の地域包括ケアのためのミニ知識2019の普及【専門職向け 900部】
 - 連携タイム、つくば市内病院のケアマネ等専門職窓口一覧、特養・訪看の特徴、気をつけたい10のこと、退院前情報共有チェックリストを追加

⇒ 重点目標

- ・評価指標の分析からつくば市の現状を確認する。
- ・CMや訪問看護師等に連携タイムの活用を周知すると共に医師にも連携タイムの運用を協力してもらう。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ・つくば市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、実施事業の検討・評価
- ・生活支援体制整備事業、圏域別ケア会議、各圏域ケアマネジャー意見交換会、自立支援型個別ケア会議等で抽出された課題とその対応策の検討

⇒重点目標

- ・住民や医療・介護関係者と「医療と介護のありたい姿」を共有し、市民の理解と専門職の意識・機運を醸成する。

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

(エ) 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・多職種連携のための意見交換会の開催
- ・地域包括支援センターと病院関係者等(SW、退院調整看護師)との意見交換会
- ・お薬手帳の活用強化 チラシとポスターにおける周知
- ・「本人・家族のための多職種連携で気をつけたい10ポイント」、退院前情報共有チェックリストの周知

⇒重点目標

- ・「気をつけたい10ポイント」「退院前情報共有チェックリスト」の運用について、多職種・病院に周知し、活用してもらう。
- ・お薬手帳の活用を市民・多職種に周知する。

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・地域包括支援センターにおける医療と介護関係者からの相談受付
- ・**地域包括支援センターと病院関係者との意見交換会【再掲】**
- ・相談窓口としての各地域包括支援センターの啓発と機能強化
- ・在宅介護支援センター定例会での情報共有

⇒重点目標

どの圏域の地域包括支援センターでも、地域の医療関係者と介護関係者からの相談を迅速適切に受けることができる。

(カ) 医療・介護関係者の研修会

- ・地域リーダー研修会を開催
- ・ケアマネジャー等の（医療やリハなどの）研修会の実施
- ・**種別団体や関係機関の研修情報の発信**

⇒重点目標

- ・まず専門職がACPや人生会議について理解し、市民に伝えることができる専門職が増えるようにする。
- ・関係団体と研修情報の共有を行う。

(キ) 地域住民への普及啓発

- ・地域の医師・CMによる在宅医療・介護啓発講座の市内6圏域開催・各複数回開催の検討
- ・在宅医療等に関する市民向け講演会（健康フォーラムつくば等）の開催
- ・つくば市出前講座 在宅医療・在宅介護啓発講座等
- ・看取り、お薬手帳、ツクツク見守りたい等の普及啓発
- ・在宅医療と介護のサービスマップの普及
- ・介護保険情報誌ハートページの普及

⇒重点目標

時事情報を追加しながら引き続き啓発講座を継続して、市民に周知する。

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村との連携

- ・近隣市町村との会議等による情報共有

⇒重点目標

つくば市の課題を解決するため、引き続き近隣市町村や保健所等と連携を強化する。